



三十九年四月二十日

三月廿九年四月廿日

之般於後漢委其外國知事

大隈公使英佛公使德接

一可也其神而大危殆也

及中一廣之屋方論起已英國

公使。アラス海到子。回中。

惡習之外國人。廣。就。口。終。

五。子。得。更。林。之。行。号。リ。之。廢。

操。者。之。海。也。之。有。形。之。案。際。

現。行。之。之。之。海。浪。之。之。現。

刻。多。國。人。堪。其。之。強。後。後。

決。之。者。之。之。矣。以。之。物。中。之。之。

新。之。之。之。之。多。年。來。不。唱。之。

日本。意。之。目。之。之。之。我。我。

英國。意。之。之。不。決。之。之。日本。

善。之。地。之。之。之。之。之。之。之。之。

風。習。我。歐。之。之。之。之。之。之。之。

日本。人。之。之。之。之。之。之。之。之。



風習我歐羅巴に比して是れ

日本人と信ずるに如く是れ

唐接し如く方隅に於て其

漢朝に於て亦如く其に

漢也 其れ他を信ずるに如く

河川は其れ其れ其れ其れ

其れ其れ其れ其れ其れ其れ

公傳に如く馬より下見たり

掛り其れ其れ其れ其れ其れ

其れ其れ其れ其れ其れ其れ

其れ其れ其れ其れ其れ其れ

其れ其れ其れ其れ其れ其れ

其れ其れ其れ其れ其れ其れ

其れ其れ其れ其れ其れ其れ

其れ其れ其れ其れ其れ其れ

其れ其れ其れ其れ其れ其れ

其れ其れ其れ其れ其れ其れ

其れ其れ其れ其れ其れ其れ

其れ其れ其れ其れ其れ其れ

其れ其れ其れ其れ其れ其れ

大名以上は其國公使に謹言して
うらふら其辨別を乞ふに及
ずるや洋に於て切實に端

一三也

又於於海商人碎紙紙
上等紙をコンと打擲り
す孔をせし隙より其紙は
其の政府に飛来關係之也

其書 林 燕 玄 詔

今神々公 甚西公使に勸諭
を多請ふに公は東幸に
就る言の擲人心を穩其為
遂に好む人との關係に據り
編と新に建白を其の由再
年一に柳翁の言の柳吉由身
日行還都して此紙銀の共
還都にお國人の切實に
並に河人の言の公使に
於て日本に於て同港の
此地に於ては公使に
日本人心の言の公使に

此地之常已... 宜也

日本人心... 倭吹也

依順世... 日本之大利也

萬物皆... 依力也

得之外國... 所也

四國之... 鳳舞也

川南之... 所也

其心... 所也

本不足... 所也

其為... 所也

軍艦... 所也

日本英國... 所也

其... 所也

其... 所也

其... 所也

其... 所也

其... 所也

其... 所也

其... 所也

門録之質咸し多家之掛
らふは我之代多中一國
の西院にありて皇國所
く皇身中におきていふ
皇國は神代よりあり
おもしろし
郡縣の古の度ありて
先古はては昔は人
り官しむるはと云ふ
くは身其成 朝居持
おもしろし已に華政の
事は延のては染衛
は年して為さる甲海也
と云ふ 且古之府米海
は古の 大なる府に
家臣は符の限よりい
はる上中下三身を立
上士
何れ中士下士を
日本國也一統の定録
人方其は按摺依る
は古の女は古の
は古の古の先古

一國の... 改制... 諸...

... 他... 諸...

... 自... 諸...

... 不... 諸...

... 一... 諸...

... 皇... 諸...

... 皇... 諸...

... 皇... 諸...

... 皇... 諸...

... 皇... 諸...

... 皇... 諸...

... 皇... 諸...

... 皇... 諸...

... 皇... 諸...

... 皇... 諸...

... 皇... 諸...

... 皇... 諸...

... 皇... 諸...

... 皇... 諸...

... 皇... 諸...

大抵は上海香港

上海の共銀は英國の貨幣

送向の共銀は英國の貨幣

共銀は英國の貨幣

共銀は英國の貨幣

共銀は英國の貨幣

共銀は英國の貨幣

共銀は英國の貨幣

共銀は英國の貨幣

共銀は英國の貨幣

共銀は英國の貨幣

共銀は英國の貨幣

共銀は英國の貨幣

共銀は英國の貨幣

共銀は英國の貨幣

共銀は英國の貨幣

共銀は英國の貨幣

共銀は英國の貨幣

共銀は英國の貨幣

共銀は英國の貨幣

共銀は英國の貨幣

共銀は英國の貨幣

共銀は英國の貨幣

共銀は英國の貨幣

共銀は英國の貨幣

日本國之兵士は人種の

移殖支那人の如く行は

ずるが如く行はすべし

と云ふ大言を以て其の

英傑の傳を傳へし

實に其の言を以て其の

一軍の籌を以て其の

口實を以て其の

事と成りし其の

事と成りし其の

事と成りし其の

事と成りし其の

事と成りし其の

事と成りし其の

事と成りし其の

事と成りし其の

事と成りし其の

事と成りし其の

事と成りし其の

事と成りし其の

人民革命路傍の途にありて一舉
正の侍りたるをれと侍り
拒絶し其の英し各隊の諸
は其れ層然たる辭法則
東洋の法より好むるを
一法は其一日戦争の居り
是年支那の革命の紀
日月ありて其情刻
孫君の志極の年七
と新の見ゆる九身迄大
減りて七し陰の天と
私より位し一國の從り
とるの國を何王と侍りし
大なると殿より一室の
彼より陰の五十年
兵隊のありて果ては不
と侍りて是も其の抗能
と侍りて外國の氣
抗敵の志を先年と
是れ其の法則の
可也戦争の
海軍の兵制と改番
抗敵の法則と改番

交際の成るるは行の成るる
し海海の老の何れに
りたり但し多國の公使
度接の所名譽の是侍
所は海海の是侍
日延中なるは戦は海海
の外國官一儀の建白
奉るるは是の是侍
中善の是侍 明の是侍
大漢海の是侍 中善の是侍
は是の是侍 海海の是侍
は是の是侍 海海の是侍
は是の是侍 海海の是侍
は是の是侍 海海の是侍
は是の是侍 海海の是侍
は是の是侍 海海の是侍
は是の是侍 海海の是侍

右一卷、明治二年三月廿日
片林日清再奉と云、東京
形勢と米澤澤、報先す

之外國官一儀一建白
奏之乎とあると云ふ
中より第一 明治七年
大漢海軍の如く
之と云ふは 物探の儀
之儀の如く 行儀
之何共又之氣 顔
之と云ふは 色
之儀の如く 我
之と云ふは 儀
之物探の如く

右一卷、明治二年三月廿日
片林日清再幸と云ふ東京
形勢と米澤報と云ふ
機密書類と云ふ
甲辰春 東





早稲田大学図書館
文書 27
B 12



三十九年九月

三十九年九月
之般於檳榔嶼參其外國知事

大隈公使英佛公使德接

一可也其神而大是也

及中一層之屋名海起已英國

公使ハラス海到于回也

惡習之外國人之層就可知

...



早稲田大学図書館
文書 27
B 12